

2004.07.29 IODP 部会事務局

日時：平成16年7月23日（金） 15:00～17:00

場所：海洋研究開発機構東京事務所セミナー室

出席者：執行部 徳山・井龍・加藤・木戸・佐柳・徐・巽（欠席：荒井・伊藤・木村）
部会長補佐 斎藤 事務局 山川・西川

【会員提案型活動経費の審査結果について】

- ・ 事務局から審査結果について報告があった。
- ・ 会員提案型活動経費の旅費としての使用制限の緩和については、コンソーシアム会員外1名を限度に認める方向で、陸上掘削部会に提案し、了解を求める。なお、他の経費についても、旅費への使用ができるよう検討する。（継続審議）

【国際パネル・国内専門部会等への対応】

- ・ 伊藤・巽両 SPC 委員の交代委員として、JAMSTEC 北里氏、島根大 野村氏が部会幹事会で承認された。今後 IODP-MI Sapporo Office に通知する。（7/27 通知済）
- ・ 次回 SPC で任期満了となる委員の後任について検討を始める。（手続き等：斎藤部会長補佐）
- ・ SSEPs 委員の公募状況について、井龍執行部員から説明があった。ISSEP 委員については自薦による応募1件（提出見込）、他薦による応募1件があった。ESSEP については、現在のところ応募はないが、徳山部会長が候補となりうる研究者に打診する。月末の締め切り後、専門部会で選任作業を進める。
- ・ SSP について、来年8月の SSP 会議をもって、沖野 co-chair が退任する見込なので、これをふまえた委員交代を検討する。（今年度末にも数名交代を検討）
- ・ 次回 SSP 会議をふまえ、対応事項の処理に当たるため、事前調査専門部会を8月下旬頃に開催する。
- ・ SciMP について、本年6月の会議をもって相田委員・斎藤委員が退任した。科学計測専門部会で後任の人選について検討する。
- ・ 前回の SciMP・TAP 両会議を受け、今後の対応（両パネルでの共同検討事項・南海トラフの Project Scoping Group への我が国としての対応検討・その他）について協議するため、技術開発推進専門部会と科学計測専門部会の臨時合同会議を7月26日に開催する。
- ・ 事務局より、現在の専門部会での懸案事項・今後の国内 IODP 科学コミュニティーの活動について検討するため、地球機構の IODP 国内科学計画委員会（小泉格委員長；IODP 部会執行部・各専門部会長も委員となっている）を開催することが報告され、了解された。8月26日または27日に開催する方向で日程調整する。
- ・ 環境保護安全専門部会（旧称：汚染防止安全専門部会）の会則改正が IODP 部会幹事会で認められたことが報告された。（既に改正は施行済み）

- ・ 情報システム WG（6月5日実施）の議事録（案）がコンソーシアムホームページに掲載されたことが報告された。

【広報・国際対応関連】

- ・ 斎藤部会長補佐より、AOGS タウンミーティングの報告があった。海洋掘削科学分野の出席者の割合が小さい中、タウンミーティングには約30名が参加した。参加者にはお礼のメールを発信する。
- ・ 秋の地質学会の「AOGS ランチョン」で、J-DESC から報告を行う。
- ・ 今後も継続して AOGS に対応してゆくかは、費用対効果等を吟味の上、検討する。
- ・ CDEX より、WPGM での CDEX ブースの展示解説について、J-DESC 所属機関の研究者の協力を求めたいとの申し出があり、斎藤部会長中心に関係者に打診したところ、JAMSTEC 研究者から数名、ブース展示解説に協力できることとなった。また、海洋研の院生も WPGM に出席するので、協力していただく。
- ・ 事務局より、IODP 大学&科学館キャンペーンについて、第3回（山形）・第4回（大阪）・第5回（岡山）の日程が決定し、文部科学省の後援名義使用承認申請中であることが報告された。
- ・ キャンペーン番外編として、7月31日～8月1日の2004青少年のための科学の祭典松本大会、国立科学博物館夏休みサイエンススクエア（8月10～15日）に出展・イベント実施することが報告された。いずれも一般向けであるため、CDEX 中心に対応・J-DESC が支援する。
- ・ キャンペーン番外編として、相馬高校（スーパーサイエンススクール）（8月26日）、専修大学（11月5日）に、それぞれ学生向けの講演会を開催することが認められた。いずれも学生向けの企画であるため、J-DESC 中心に対応し、CDEX の協力を求める。
- ・ 木戸執行部員より、地質学会の夜間小集会の日程が、9月19日（日）18～20時に決定したとの報告があった。今後、プログラムを決定し、ML 等で周知する。
- ・ 地質学会の CDEX/J-DESC 共同ブース展示について、解説担当の割り振りを CDEX 側と協議・調整する。（木戸執行部員）
- ・ 12月の AGU については、USSAC、ECORD との共同対応が必要と認識。今後日本側（J-DESC）から欧米側に働きかけてゆく。（斎藤部会長補佐・木戸執行部員担当）

【IODP 乗船研究関連】

- ・ NA-II 航海乗船者について、国内ランキングが終了し、TAMU へ候補者通知済み。
- ・ 次年度 MSP（タヒチ航海）について、乗船研究者の募集準備を進める。
- ・ MSP タヒチ航海について、ESO から来た照会メールについては、斎藤部会長補佐が情報を整理し、対応する。（本来、乗船研究者の募集については IODP-MI からあるものと認識）
- ・ これまで J-DESC のノミネーションが終了した航海のうち、日本人乗船枠が満たされていないものについて、アジア諸国からの研究者乗船が可能か、再度検討し、可能であれば早急に対応する。各国・JAMSTEC・MEXT 等関係者との調整も必要である。（斎藤部会長補佐・木戸執行部員・荒井執行部員で対応）
- ・ 乗船研究旅費について、本年度（NA-I 航海以降）については、緊急措置として JAMSTEC

が原則手当する（学生など、JAMSTEC での手当が不可能な場合は海洋研が手当する）ことになったことが報告された。J-DESC 事務局は、JAMSTEC（または海洋研）に、乗船研究者の基本情報のみ送付する。乗船研究者には、必要な場合、旅費支払い機関の担当者とコンタクト取るよう連絡する。本件につき、J-DESC として説明するため、各会員機関と各乗船研究者宛に文書を発信する（徳山部会長・斎藤部会長補佐が対応）。

- ・ MSP 北極海航海への教員乗船枠（Teachers at Sea Program）について、日本からの推薦者は、残念ながら選出されなかったとの報告があった。

【その他】

- ・ 総合学術会議のアンケートにつき、伊藤執行部員提供の資料に基づき、徐執行部員が状況説明をした。井龍執行部員・加藤執行部員で対応する。
- ・ 深海掘削委員会が8月9日に開催されることが報告された。本委員会で報告・検討するための資料として、予算獲得状況に関し「競争的資金獲得状況の調査」を実施していることが報告された（巽執行部員・事務局で対応中）。このほか、委員会では、広報の現状等、J-DESC に関連する話題が取り上げられる見込。
- ・ 事務局よりコンソーシアムパンフレットの改定案が紹介された。特にコメントがあれば事務局まで連絡する。今後は、陸上掘削部会側に本案を提示し、コメントを受け修正後、地質学会までに印刷する。（英語版も作業進行中）
- ・ 陸上掘削部会の発足とともに、賛助会員数が激増したため、今後は賛助会員への対応（情報・サービス提供等の形での会費還元）を強化してゆく必要があるとのコメントが出された。
- ・ 科研費新規特定領域（環境・生物関連）に関し、専門部会での検討を進める。（井龍執行部員、北里地下圏微生物部会長と連絡を取りつつ対応）
- ・ AESTO 田中国内科学計画室長の後任として7月1日に着任した喜多河康二国内科学計画室長が紹介された。コンソーシアム事務局も所掌し、必要に応じて執行部会にも出席する。
- ・ 次回執行部会は、8月26日（木）または27日（金）のIODP 国内科学計画委員会の前後に、海洋研究開発機構東京事務所で行う。